No.47
熊広報
平成25年10月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長　近藤　輝和
公民館長　高橋　博良

『敬老会』開催

地区長　近藤　輝和

九月十四日(土)に、熊地区敬老会お祝い品贈呈式を開催しましたところ、残暑厳しい中、多くの方が出席されました。刈谷市と社会福祉協議会よりお祝い品の贈呈をしていただき、また、祝辞もいただきました。

敬老会員三百六十三名を代表して、八幡町の竹中功さんが謝辞を述べられ、お祝い品贈呈式は厳かな中にも、あたたかい雰囲気で終えることができました。

地区長のあいさつ

第二部の余興は、神谷智子さんの華麗なマジックショーで始まりました。次いで婦人会による、なつかしい歌と踊り、民踊愛好会の洗練された踊りと続き、子ども会の子たちはかわいい歌声を披露してくれました。

会場がひとときに、感謝とお祝いの気持ちに包まれましたことに主催者として、とてもうれしく思いました。

出席された方々のお見送り

市長からお祝い品の贈呈

敬老会お祝いのことば

刈谷市長　竹中　良則

本日、熊地区の皆様が長寿を祝福し、敬老会を開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

皆様方には、常日頃から本市の市制の推進に深いご理解をいただき、とりわけ福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

刈谷市長の祝辞

本日、お祝いを受けられます皆様方は、永年にわたり様々な分野でご活躍いただき、今日の郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになられました。ここに、改めて敬意を表するとともに、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

我が国の平均寿命は、男性が七十九・九歳、女性が八十六・四歳となり、世界でも最長寿国でございます。

本市において、今年の敬老会でお祝いを受けられる方は、七十五歳以上の方が一万一千四百十九名、数えで百歳以上の方が六十九名おみえになり、市内最高齢の方は今年で百十歳を迎えられております。

このように多くの皆様が長寿を喜び、いきいきとお元気でお過ごしいただける社会が、私どもが目指している長寿社会であると考えます。

さて、皆様すでにご存知のことと思いますが、本市では今年度、刈谷城築城四百八十年の各種イベントを実施しています。市民の皆さんが刈谷の歴史に触れることで、まちづくりへの参画の契機となり、地域の活性化に繋がるようにと願っております。

科学の発達が著しい今日ですが、日々の営みや生活には先人の知恵に負うところが多く、皆様には今後も私たちの先輩としてご助言いただきたく、また、安心して元気でお暮らしいただけるようなまちづくりを推進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日お集まりいただきました皆様方の益々のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

式典に出席された方々

敬老インタビュー
竹中　功さん（八幡町）満八十七歳

九月中旬、竹中さん宅を訪問して、いろいろなお話を伺いました。インタビューに答えられる竹中さんは、米寿を迎えられるとは思えないほどお若く、心身ともに健康という印象を強く持ちました。

健康の秘訣を伺ったところ、三つのことをお話くださいました。

秘訣その一・・・・何でも食べること。食べ物に好ききらいがないこと。特に野菜が大好き。

秘訣その二・・・・食事の前に、一日に三十分から四十分間ほどウォーキングをすること。

秘訣その三・・・・地域の仕事をしてきたこと。熊公民館、熊野神社の氏子総代、熊老壮会の役員を務め、人とふれあう機会が多かったこと。

現在は地続きの畑で、無農薬の野菜を作ることが趣味だそうです。一本のかぼちゃの苗から二十個ものかぼちゃが穫れたと、うれしそうにお話される姿や、皆さんのおかげと語られる言葉から、ひかえめで、誠実なお人柄を知ることができました。

今後の健康長寿をお祈り申し上げます。

（熊公民館主事　野澤重明）

「敬老会のボランティアに参加して」
東中一年　雑賀　可夏

九月十四日に、熊市民館で行われた敬老会のボランティアに参加しました。

私は、来賓の受付のお手伝いをしました。来賓の方にリボンを付けて、入口の所まで案内をすることをやりました。

来賓の方にリボンをつけると、笑顔で「ありがとう」と言ってくれたので、すごくうれしい気持ちになりました。最初は、緊張していたけれど、来賓の方が笑顔で受付にあいさつをしてくれたので、緊張がほぐれました。

中学生の敬老会ボランティア活動

敬老会には、熊地区の七十五歳以上の方がたくさん来ていて、元気に敬老会に参加しているのを見ると幸せな気持ちになりました。

みなさんが、笑顔で敬老会に参加されていたので、これからも敬老会がずっと続くといいなと思いました。

熊地区夏祭りを終えて
公民館　館長　高橋　博良

今年の夏祭りは、早い梅雨入り、早い梅雨明けで迎えた七月二十日（土）、二十一日（日）の両日にわたって熊野公園で開催致しました。

今年は、老壮会の皆さんが老壮会独自の盆踊り練習日を設けて、踊りのウデを磨き、揃いの法被を新調した参加で盛り上げていただきました。

これによって昨年まで、よその地域の方から「男の人が踊っていないね」との感想を払しょくでき、主催するものとして大変うれしく思いました。

二日間で延べ千人近くの皆さんの参加が有り、夏祭りを無事に終えることができたことを喜び、感謝を申し上げる次第です。

おわりに、この夏祭り開催にあたり地域の事業所、商店各位からの協賛、老壮会、消防第四分団、安全パトロール隊、民踊愛好会、太虎連、亀城ベースボール、中学生ボランティア、各役員OBなど多くの皆さんから支援協力がありましたことに厚くお礼申しあげます。

たのしかったなつまつり
一ねん　いしかわ　ゆきな

なつまつりでは、いろいろなあそびがあってたのしかったです。いちばんたのしかったのは、たからつりです。かわいいリボンのかざりをもらえて、うれしかったです。

ぼんおどりは、たいこのおとがきれいでした。いっぱいおどってたのしかったです。おともだちともおどれて、うれしかったです。しんちゃんおどりが、おしりをふりふりしておもしろかったです。

また、らいねんもたのしみです。また、おどりたいです。

ラジオ体そう
二ねん　かつざき　ちか

8月25日から8月31日まで、一しゅうかんラジオ体そうが、くまのこうえんでおこなわれました。

わたしは、毎日行こうと思いました。

だけど、1日目からねぼうをしてしまいました。それからは、休まないで行こうと思いました。

毎日早おきをして、くまのこうえんまで行きました。1日だけ休んであとはぜんぶ行きました。

さいごの日にごほうびがもらえてうれしかったです。

万燈祭を振り返って

地区長　近藤　輝和

「そーれ！」市内行進をする際、テンポの早いチャラボコの間に入れるこのかけ声が、今も耳元に心地よく残っています。

七月二十七日(土)愛知県の無形民俗文化財に指定されている万燈祭(新楽)に豊田自動織機・熊地区合同で参加しました。

地区有志の皆さんが時間をかけて制作した中万燈「三浦の介」は、熊地区の万燈作りの歴史に新たな一ページを刻んでくれました。その出来栄えに多くの方から賞賛の言葉をいただき、とてもうれしく思いました。

炎天下に太鼓や竹笛を奏でてくれた子、山車を元気よく引っぱってくれた子たちの顔が今も鮮やかに浮かんできます。保護者の方と子ども会役員の方に改めて感謝したいと思います。

来年もいっそう充実した祭にするためご協力をよろしくお願いします。

中万燈「三浦の介」

「万燈祭」

六年　小田　琴音

七月二十七日に万燈祭がありました。町内引きは、天気が良くとても暑くて大変でした。でも、休けいでもらえたアイスやジュースで元気が出て、がんばることができました。

全町引きの時は、だんだん空が暗くなり万燈に灯りがつくと、きれいに光っていて今までの疲れがとんでいってしまいました。

灯りのついた万燈が、クルクル回ると、迫力満点でとてもかっこよかったです。笛をふいていても、自然に体が動き、とても楽しかったです。

万燈祭が終わった後は、一日中たくさん歩いたので足がとても痛かったです。でも、その痛さに、やりがいを感じ、最後までやりきることができて良かったなと思いました。

来年の万燈祭も楽しみです。ずっとずっと続いてほしいです。

夏のお楽しみ会

三年　菊池　翔太

ぼくは、8月21日に、子ども会の夏のお楽しみ会に行きました。

はじめに、さんぎょうぎじゅつきねんかんに行きました。そこでゲームをやったりしました。

つぎに、ほうわスポーツランドに行きました。ぼくは、スケートをするのがひさしぶりで、何回かころびそうになりました。でも、すべっていくうちに、だんだん上手になってきました。

すごく楽しかったです。また行きたいなあと思いました。

「けいろう会」

四年　野田　佳彰

はじめてのけいろう会で、おじいちゃん、おばあちゃんに歌を歌いました。

「手のひらを太陽に」「虫のこえ」「ふるさと」です。むずかしかったのは、「ふるさと」です。二番、三番の歌しがよくわかりませんでした。でも、本番の前にいっしょうけんめい練習をしたら歌えるようになりました。

本番では、「手のひらを太陽に」「虫のこえ」も上手に歌えました。歌い終わって、いわい花をわたすときに、心をこめてわたすことができて、良かったと思います。

熊地区の歴史あれこれ

郷土史研究会　会長　竹中　兼利

熊地区の墓所(むしょ)

前回安養学校・熊村学校の事をお知らせしたところ、戸長の三浦治平さんが中心となって安養学校を造られたことを知らせてくださる人がありました。当コラムについてのご意見ありがとうございました。

さて、今回は熊地区にあった「墓所(むしょ)」の話です。墓所とは昔の火葬場の事です。かつてはこれが各村々にあり、当熊村では鷺縄手(さぎなわて)(現在宝町三丁目あたり)にありました。この墓所は昭和四年十一月に刈谷町営の火葬場が小山の恩田にできるまで使われていました。

死者が出ると、まず死者の体を「湯灌(ゆかん)」(きよう)して、荒縄で襷(たすき)を掛けた人が体を洗い、経帷子(かたびら)を着せてからお棺に入れます。家でのお葬式が終わると行列を組んで墓所へ運びました。墓所で灰葬のお経が済むと、薪を組んで棺を載せ、藁をかぶせて燃やします。夕方に点火しました。死者は火の中で動くので、首や手が火の外へ出てしまう事があります。そこで親戚か家の人が夜中に見に行き、完全なお骨にしていました。

阿弥陀如来石像

当時の阿弥陀如来の石像とお棺を置いた石の台が安養寺の東にあります。子供の頃、阿弥陀さんの前を通るとなんとく気味が悪かったので、子ども会の肝試しのコースにしていました。よく見ると石の台には享保十七年(西暦一七三二年)の文字を読むことが出来ます。一度ご覧ください。

老壮会だより

夏祭りの盆踊りに参加して

三浦喜代次

老壮会お揃いの法被で、踊りの輪に加わりましたが、気恥ずかしさからライトの当たる明るい場所に来ると、つい暗い場所へと速足になってしまう。ご指導くださった民踊愛好会の人を目で追いながら何とかついて踊りましたが、二日目には足腰が痛くなり、休憩にビールを飲む時間の方が長くなってしまいました。踊るもよし、飲むもよし、楽しい盆踊りでした。

ボーリング大会に参加して

高柳豊子

「四十年ぶりのボーリング、出来るかしら」そんな声があちこちから！豪快な始球式に、皆やる気満々。ストライクありガーターありと、悲喜こもごもの二十余名の**老人パワー**。

はじけるストライクにガッツポーズ、難しいスプリットをクリヤーし、思わずハイタッチ。若かりし二十代に戻り、大変楽しいひと時を過ごさせていただき、ありがとうございました。

熊野神社だより

氏子総代会会長　伊藤誠

いろいろな所で秋祭りの笛・太鼓の音が聞こえてくる季節になりました。

★神社として秋祭りに際し、多くの皆様から大祭奉賛金・大祭特別奉賛金をご寄進いただき、誠にありがとうございました。

★秋の大祭から新しいポールでの、のぼり旗を地域の方々に揚げていただけます。

★秋の大祭式典　十月十三日(日)

・煙火打ち上げ　七時
・里神楽・浦安の舞奉納　九時
・式典　十時
・子ども神輿町内巡回　十時
　着ぐるみ隊も同行参加
・厄年厄払い式　十二時三十分
・もち投げ　十五時

★報国神社の床が浮き、祭祀時に机がガタつくため、総代と総代OBの人海戦術により、二日半で床をとり除き、コンクリを入れ、網目針金を敷きコンクリを厚く埋め表面を仕上げました。近くにお越しの際には、ぜひご覧になってください。

なでしこ連絡帳

なでしこ会　三浦昌子

猛暑と言われたこの夏も、いつしか朝夕の心地よさにホッと一息つくこの頃ですネ。

今年の万燈祭は雨の心配の無いお天気に恵まれて、暑い中、笛や太鼓で練り歩いたみなさんに、疲れを取っていただこうと、氷を作ったり、麦茶を沸かしたり、ジュースやタオルを直前までしっかり冷やしたりして待ちました。

「冷たーい」、「気持いいー」、「甘ーい」、とみなさんに喜んで頂く事ができました。そして、元気を取り戻されて発って行かれました。

その後、体調を崩した方を市民館で役員の方達が付き添ってお世話して下さり、無事に終える事が出来ました。

みんなでつくろう　安心なまちづくり

防災リーダー　鈴木富佐夫

心配される南海トラフ地震を念頭において今、自助・共助を身につけ実践していく心構えと準備が必要とされています。各家庭で防災について話し合い、災害時の役割分担や離れている場合の連絡方法を決めることから始めてはどうでしょう。

熊地区では、昨年度に引き続き、自主防災会の体制づくりを進めています。三町で事情が異なりますので、熊野町、八幡町、宝町に防災リーダーを置き、この防災リーダーを中心に防災活動をお手伝いさせていただこうと考えています。ご協力をお願いします。

婦人会からの活動報告

婦人会　広報担当　三浦恵美子

★六月～七月の毎週木曜日、民踊愛好会様にご指導いただき、計七回の盆踊り練習を行いました。

★夏祭りでは、太虎連様の熱い響きに合わせて、大変楽しく踊ることが出来ました。

★九月十四日の敬老会では、余興として「青い山脈」他一曲を歌わせていただきました。

今後の活動予定

★十一月の文化展では来年の干支「午」をテーマにした毛筆の作品に取り組んでいます。

皆様ぜひお立ち寄り下さい！

消防団第四分団からのお知らせ

分団長　奥村直哉

先日は、消防団活動へのご理解のもと助成金につきましてご協力を頂き誠にありがとうございます。

現在までの主な活動内容

4月　消防団員講習会
5月　刈谷市水防訓練
6月　刈谷市消防操法競技会
8月　熊地区夏祭り警備
　　わんさか花火大会警備

引き続き熊地区の防火、防災に努めてまいります。

最後に、まだまだ新入団員を募集しております。地元のお役に立ちたいと考えている方は是非とも一緒に活動しましょう。